

田ノ口小学校

『主体的に判断し行動できる児童の育成』をめざして

校長 橋田 まや

◆はじめに

本年度は、全校児童45人、教職員11人、複式学級(4・5年)1組の5学級編成で教育活動を進めています。

学校教育目標を『主体的に活動し心豊かにたくましく生きる児童の育成』とし、「学力の向上」と「防災教育」の両面から、目標の実現を目指しています。

本校の児童は、学年を超えて仲良しで、朝は誘い合って7時過ぎには登校が始まり、一輪車やサッカーなど、元気に外遊びをします。そして、8時からは年間を通して朝マラソンを行い、心身両面を鍛えています。

本年度も、このかけがえのない子どもたちがますます輝けるよう、全教育活動を通して全力で取り組んでいます。

◆命を守る防災教育

本校では、『主体的に行動し、自分の命を守りきることで生きる児童の育成』の防災教育

目標のもと、さまざまな場面を想定した避難訓練や防災学習を中心に「我がこと感」を大事にした取組を行っています。また、防災キャンプや引き渡し訓練など、保護者や地域を巻き込んだ取組も行い、どこで地震にあっても自分で主体的に判断し行動できる「災害から生きぬく力」の育成を目指してまいります。



区長さんをゲストティーチャーに

◆学力の向上

児童に確かな学力をつけるための「楽しい・分かる・できる」授業を目指して、自分の考えを書く活動や、話し合い活動を取り入れた授業づくり・授業改善を行っています。

下表は、本年度4月に実施した標準学力調査における本校の結果です。全国を1と見ると、3年生の国語が全国を少し下回っていますが、全体

的に全国と同等か、やや上回るという結果でした。

平成25年度標準学力調査結果

(全国を1とする)

	2年	3年	4年	5年
国語	1.09	0.95	1.00	1.14
算数	1.10	1.06	1.10	1.17

しかし、6年生が実施した全国学力・学習状況調査では、国語も算数も全国平均をやや下回るとい結果でした。

この結果を細かく分析してみると、文章の読み取り、自分の考えを条件に沿って書くこと、図や表・グラフの読み取りなどに課題が見られました。これらの課題解決に向けて、まずは日々の授業の中で取り組むとともに、帯タイムや放課後学習、家庭学習などを活用して徹底して取り組んでいきます。さらに、主体的に意欲をもって学ぶ姿勢や学んだ知識を活用するための言語能力を高める取組も行っていく予定です。

◆仲間作り

みんな仲良しで挨拶もできる児童が多いですが、中には自分の気持ちをうまく伝えることができない、挨拶が進んでできない児童もいます。そこで、校内一斉にソーシャルスキル教育を取り入れて、「友だちと仲良くすすすコツ」を全校で学んでいます。



教職員によるモデリング

読書ボランティアの方が来てくださるようになって6年目となりました。今年は4人のボランティアの方が、季節や行事、児童の実態に合った本を見つけて読み聞かせしてくださっています。子どもたちは読み聞かせの日が楽しみです。目を輝かせて聴き入っています。読み聞かせがない日は、自分たちで静かに朝読書ができます。こうして、落ち着いた気持ちで1時間目の学習に入ることができます。

この読書ボランティアの方の活動は、本校の児童の豊かな心の育成や読書力の構築にもつながっています。今後も、継続してお願いしたいと思っています。

◆コミュニティ・スクール

一昨年より「コミュニティ・スクール」の認定を受け、地域・家庭・学校が相互に連携し、子どもを地域で育てるといふ土壌作りを進めています。具体的には、年間3回の推進委員会・防災に関連した行事・地域との合同運動会・昔遊び交流会などが主な取組となっています。このような活動を通して、地域・家庭、学校が一体となって、子どもたちの成長を育んでいきます。

◆読み聞かせでスタート

毎週火・水・木の始業前、

上川口小学校

いのちを輝かす

やりぬく力の育成

― 挑戦・不屈・努力 ―

校長 前田 浩文

◆はじめに

本年度は、8人の新入生を迎え、全校児童45人、教職員11人で教育活動をスタートさせました。

2・3年生が複式学級、新設の特別支援学級の6学級で編制しています。

本校の1日の始まりは、毎朝8時のマラソンです。体育委員が、大型タイマーとカセットデッキを準備し、全校児童が音楽に乗って走ります。ただ走るのではなく、校庭10周の自己目標タイム更新に向けて頑張っています。

◆学校教育目標

「いのちを輝かす」「やりぬく力の育成」「挑戦・不屈・努力」「やりぬく力」の源は、「自尊心」の高さであると言われています。

今年度も引き続き、校内の研究において、「自分の考えや思いを伝え、判断し行動できる児童の育成を目指して」というテーマで取組を進めて



算数でICT

います。このような力が備われば、自信を持って、他者と協働・共生できる力を表現している」と評価できます。つまり、「自尊心」の高揚が期待できると考えています。

◆学力向上プロジェクト

今年度は、ユニバーサルデザインに加えて主体的・協働的な学習であるアクティブ・ラーニングを取り入れた授業を行っています。

今年度の標準学力調査結果を見てみると、各学年に共通する課題は、問われていることをしっかりと捉え、多くの情報をいかに整理して、答えを見出すか、つまり、情報処理能力を高めることです。この

力は、授業をはじめ、さまざまな場面で培う必要があります。平成26年度より導入したICTもその一端を担っています。PCやタブレットを授業や発表会、取材活動に活用することにより、情報を処理し、活用する力が徐々に備わってきていると考えています。

平成25年度標準学力調査結果
(全国を1とする)

	2年	3年	4年	5年
国語	1.02	1.17	0.94	0.93
算数	0.96	1.14	0.97	0.94

◆徳の向上プロジェクト

私たちは、「褒めて・認めて・励ます」をモットーに子どもたちの「自尊心」の高揚を目指して取り組んでいます。人権教育参観日やキャリア教育参観日などには、講師を招いて講演会を開き、人としての生き方について学びます。また、子どもたちのプロジェクトでは、「あいさつ運動」や

「全校レクリエーション」、「ありがとうの木」などの取組があります。児童会が、あいさつの様子やありがとうメッセージを全校で紹介し、評価することで、仲間意識が高まります。

◆体力向上プロジェクト

年間を通して、雨の日以外毎朝続けているマラソンは健康な心身をつくる土台になります。体育の授業改善には、講師を招聘し、子どもたちの体力や運動能力を高めるための研修会を開き、より適切な指導方法を学んでいます。体力テスト結果から、少しずつ伸びが認められます。

◆命の教育プロジェクト

地震・津波についての学習はもとより、あらゆる場面を想定した抜き打ち避難訓練(通学途中、授業中、休み時間、給食時、水泳時、下校時など)を実施しています。特に、通学途中や下校時での訓練は、子どもたちがどう判断し、どう行動するかを知る上でとても重要な場面です。子どもたちの自助・共助の力を高めたというねらいがあります。また、年間2回の防災教育参観日では、講師を招聘し減災アクションカードゲームや避

難所運営ゲーム(HUG)、引き渡し訓練、炊き出し訓練を行っています。保護者・地域の方々との協働の取組は、子どもたちの心に、命の大切さをもとより、家族、友だち、地域の方々に対する感謝の念として醸成していくと考えます。「防災についてもっと勉強したい」という児童が増えたことがうれしく思います。

◆おわりに

4つのプロジェクトを深化・発展させながら、子どもたちの成長にプラスになるよう全力で努めていきたいと思っています。



引き渡し訓練